

基本情報

| | |
|----------|--|
| 対象事業所名 | 株式会社 湘南悠遊倶楽部 湘南アイルド茅ヶ崎保育園 (定員 60 名) |
| 設立年月日 | 平成 12 年 5 月 11 日 |
| 所在地 | 〒253-0044 茅ヶ崎市新栄町 10 番 4 号 |
| 電話番号 | 0467-84-2311 |
| 評価年度 | 平成 28 年度 |
| 評価機関 | 株式会社 R-CORPORATION |
| 結果公表 | 平成 29 年 2 月 |
| 評価実施期間 | 平成 28 年 6 月 ~ 29 年 1 月 |
| 結果に要した期間 | 7 ヶ月 |
| 評価項目 | 神奈川県社協版 |

評価方法

| | |
|-------------------------------------|---|
| ●自己評価 | |
| (実施期間) 平成28年6月8日～ 平成28年7月26日 | (評価方法) 全職員（非常勤含む）へ評価書を配布し7月8日期限内で記させ提出させた。その後、各自の評価内容を検証したうえで当園の評価書をまとめた。そして、全員で内容を確認、修正等を行った。 |
| ●評価調査員による評価 | |
| (実施期間) 平成28年10月21日 | (評価方法) 調査員2名が訪問し、園内の視察、保育現場の観察、インタビュー（園長及び各職種責任者）、書類の確認を行った。 |
| ●利用者家族アンケート | |
| (実施期間) 平成28年8月23日～ 平成28年8月31日 | (実施方法) 各世帯（47世帯）に配布し、園内設置のボックスへ投函して頂く方法。 |

第三者評価結果報告書

1. 総合評価

総合評価

(優れている点、独自に取り組んでいる点、改善すべき事項等)

●湘南アイルド茅ヶ崎保育園の立地・概要

・湘南アイルド茅ヶ崎保育園は、JR東海道線茅ヶ崎駅北口改札から徒歩で3分のところに位置し、茅ヶ崎市の中心的商業地として生活に密着した賑わいを持つ街中から一步入った静かな通りに所在しています。茅ヶ崎駅北口周辺は「景観まちづくり」を重点的に推進しており、商業街区、東海道街区、行政文化街区の3つの街区を定め、中央公園と周辺の行政施設や集客施設との連続性や一体性を確保し、都心景観の創出に力を入れ、発展を続けている地域です。園から5分の中央公園には、公園中央に芝・草地広場が整備され、四季折々の花々が咲き誇り、市民の憩いの場と共に地域の保育園の集いの場にもなっており、園でも地域の方との交流、自然との触れ合いを通して子ども達の豊かな心を育む機会に生かしています。

・湘南アイルド茅ヶ崎保育園は、認可外保育所として平成12年9月に開園し、家庭的な雰囲気の中で子ども一人ひとりの成長を大切にしたい保育を継続する中、湘南信用金庫の施設活用事業の一環として株式会社湘南悠遊倶楽部を設立して事業推移を行い、平成26年4月に認可保育施設へ移行しました。園舎は湘南信用金庫茅ヶ崎営業部の後ろ側に位置し、鉄筋のアイボリーの建物に大きな虹が描かれ、明るい印象を醸しています。1階正面入り口はエレベーターが設けられ、2階、3階（会議室）、4階の園舎に直接上がれる構造になっており、2階の園玄関前はガラス張りの事務室があり、誰が来てもすぐにわかるようになっています。玄関から右側に、陽のあたる明るい各保育室が設けられ、広い廊下を挟み左側にはトイレ、倉庫、教材室、調理室が並び、奥正面は幼児室になっており、4階には広いプレイルームが設けられています。定員は60名であり、対象年齢は生後6ヶ月から就学前までとし、現在、0歳児は3名、1歳児は9名、2歳児以上は各年齢12名での構成となっています。湘南アイルド茅ヶ崎保育園は、これまでもこれからも保育の方針として、家庭的な雰囲気と温かさを大切に、子どもの育ちを受け止め、子ども・家族の気持ちに寄り添い、様々な経験を通して子どもの社会性や豊かな感性・心を育てています。

●湘南アイルド茅ヶ崎保育園の保育の方針

湘南アイルド茅ヶ崎保育園の運営基本方針は『明るく、安全で安心できる園づくり』を掲げ、保育方針では、子どもの気持ちを大切に、園外保育を通して自然の中から発見、体験を通じて豊かな心と体を育むことに主眼を置いています。湘南アイルド茅ヶ崎保育園は、それらの実現のために、保育環境の整備に力を入れています。また、保育の方針は設立時からの「子ども一人ひとりの個性や成長の過程を大切に、一人ひとりに応じた保育」を継続し、保護者からも信頼を得ています。園の名称であるアイルド (I'd) は、園の保育方針に沿った「愛」と「チャイルド」を合わせた言葉で思いを込めて名づけられています。保育については、園の運営基本方針、保育目標等に基づいた運営に努め、さらに、大人、子ども同士の関わりを通して、子どもの協調性、道徳性を養い、異年齢保育により思いやりの心を育み、保護者との連携・理解を深めながら多様な保育を実施しています。

1. 食育の推進

湘南アイルド茅ヶ崎保育園では食育に力を入れています。園では、30坪程度の畑を近隣に借用して土に親しむ機会を設け、畑ではジャガ芋、さつま芋等を栽培し、ひまわりの花も2種類植栽し、大きいひまわりと小さいひまわりを育て、子どもの発見と感性を育む一貫になっています。畑で栽培・収穫した野菜はクッキング保育に活用し、小さい子どもの頃からそら豆の皮むきなどの体験を行い、食への関心につなげています。また、子ども達自身で収穫した栽培物を食すことにより興味につなげ、苦手な食材が食べられるようになるよう活動しています。園では、食材（キノコ等）となる栽培をしてくれた人に対する感謝を教え、“生き物”（肉、魚等）を食べる場合には生命をいただく感謝の気持ちを教え、食事は多くの「命」に支えられ、調理をする人、多くの人たちのがんばりに支えられていることを伝え、食事に対する感謝の心を育てています。

2. 子ども一人ひとりを大切にす保育の推進

湘南アイルド茅ヶ崎保育園は、子ども一人ひとりを大切にす保育を推進しています。現在、認可保育園に移行して定員60名の中規模保育園となりましたが、保育の方針は開園当初（平成12年）からの方針を継承し、子ども一人ひとりの個性や成長の過程を大切にし、一人ひとりに応じた保育を継続しています。職員体制も開園当初から継続して勤務している職員が多く、全職員で全園児を見守る伝統的な体制が構築され、子どもも保育士を信頼し、保育士が好き、といった表現が活動の中で多々見て取れました。例えば、子どもたちは登園して来ると担任の保育士にうれしそうに飛びつき、保育士も必ず名前を呼んで「おはよう！」と元気に声をかける等、明るい光景を確認できました。困った時には園長先生のところに言いに行く子どもも見られ、情緒の安定が図られ、送迎時では保護者の方々と良好な関係が構築されていることがうかがえました。また、卒園児が帰りに立ち寄ることもあるなど、このような家庭的な温かい雰囲気風土が湘南アイルド茅ヶ崎保育園の良い点です。

3. 保護者と連携した保育の推進

湘南アイルド茅ヶ崎保育園では、日本保育協会が配布している「子育て安心カード」を活用し、保護者と子どもの発達を共有するためのツールとして生かしています。核家族化における初めて子どもを持つ母親は、自分の子どもの成長の度合い、対応の仕方に指針を探し求めます。昔の大家族の時代、地域が密接であった時代では初めての母親をサポートしてくれましたが、核家族で、マンション生活が増えた現代では子育ての先輩からのサポートの機会も希薄で、子育てがうまくできない母親が増えているのも現状です。園の「子育て安心カード」には発達に即した子育てのポイントが記載され、担任の保育士が保持し、保育園生活での発達の状況を加味しながら1枚ずつ保護者に渡して説明を付けています。子どもの発達に応じて、母親と園が一緒になってタイミング良く子育てができると共に、園との連携にも良好な成果を上げています。尚、時期的な年齢にあるカミツキ等、全般に云える傾向については入園時などでも説明して保護者に理解を促しています。